

英語活動案

尾道市立栗原北小学校

指導者 HRT 森 下 理 奈
ALT Christopher Schoepp

- 1 日 時 平成15年10月24日（金） 第2校時
- 2 場 所 交流学习室
- 3 学 年 第5学年2組 32名
- 4 題材名 「こんな仕事がしてみたい」
- 5 題材について

- 5年生では社会科や道徳で職業に関する学習の機会も増え、将来就きたい職業について多少なりとも考えるようになってきている。また、職業名はカタカナ英語で表されることも多く、知らず知らずのうちに英語での表現を聞いたり、話したりしていることも多く、親しみやすいテーマである。

本題材は、お互いに将来なりたいものを尋ね合う活動を通して、自分から進んで話そうしたり、相手が言っていることをわかろうとしたりするなど、コミュニケーションへの積極性を高めることを目指している。また、互いの夢を尋ね合う活動を通して、様々な職業を知り、自分の将来について考え、友だち同士がより深くわかりあえる機会ともなる題材である。

- 本学級では、ほとんどの児童が英語の時間を、「楽しい・まあまあ楽しい」と答えている。特にゲーム的な活動に興味を示しており、クラッシュゲームやヒットゲーム、“BINGO”の歌など、楽しく活動している。

5年生になってからの英語活動では、“友だちを紹介しよう”の題材で自分の友だちを他者に紹介したり、“買い物しよう”の題材で店員と客に分かれて買い物をしたりする活動をしてきた。このようにコミュニケーションを重視した活動を繰り返すうちに、友だちと積極的にかかわりあい、そのことを楽しいと感じる児童が増えてきている。また、9月には実際に平和公園で外国の方にインタビューし、緊張しながらも外国の人と話ができる喜びを感じた児童が多かった。

しかし、ALTやJTEの発音が聞き取れないことに不安を感じたり、思うように英語が話せないことにもどかしさを感じたりして、英語活動に積極的になれない児童もいる。また、迷いや照れからか、児童同士が将来の夢について語り合っている姿はあまり見られない。職業に関する実態としては、「弁護士になりたい。」「保育士になりたい。」等と、将来の夢を抱いている児童は76%であり、24%の児童は将来自分がなりたい夢をもてないでいる。

- そこで指導にあたっては、まず身の回りの職業に目を向け、関心を持たせることを大切にしたい。発音することに自信をもたせるためにも、「発話する」時間より「聞く」時間を増やし、しっかり聞いて、聞き分けられる耳を育てることを重視する。そのためにも、ビンゴゲームやカルタゲーム等、聞かなければならない状況を作るゲームを多く設定する。

発話する際には、単に単語の発音を繰り返すのではなく、リズムボックスを使ってリズムにのって言えるようにしたり、ゲームをしたりして、楽しみながら英語表現に慣れるようにする。また、自分から進んで友だちとコミュニケーションをとりたくなるような場面を設定し、会話する際には相手の目を見てうなずきながら聞くなど、相手を思いやろうとする態度も育てたい。

扱う職業名については、教師が提示するものに限定せず、児童が興味をもっている職業や将来就きたい職業等、柔軟に扱っていきたい。

6 目標

- 自分から進んで友だちとかかわり、気持ちのよいコミュニケーションをとろうとする。
- 集中して聞き、相手がどんなことを言っているか、わかろうとする。
- 様々な職業の言い方を知り、将来の夢について関心を持つ。

7 評価規準

表現	聞いたことを音声化したり，動作化したりしようとする。
聞く	相手がどんなことを言っているか，わかろうとする。
コミュニケーションへの積極性	自分から進んで話そうとする。
思いやり・相手の立場	アイコンタクトをとりながら，気持ちのよいコミュニケーションを取ろうとする。

8 活動計画

時	活 動 内 容	使う英語表現	歌
1	○職業の言い方を知る。 ・ Yes/No ゲーム ・ カルタゲーム	firefighter, carpenter, dentist, teacher, doctor, police officer, singer, soccer player	♪Do You Know the Astronaut? ♪Ha,Ha,This-a-way ♪Good-bye song
2 (本時)	○将来になりたいものの 尋ね方と答え方を知 る。 ・ インタビューゲーム ・ ビンゴゲーム	A : Hi,_____ B : Hi,_____ A : What do you want to be? B : I want to be a _____ A : I see.	
3	○自分が将来になりたい ものを考え, 言い方を 知る。	B : How about you? A : I want to be a _____ B : I see. See you.	
4	○スキットを考えて互 いにインタビューし あう。	A : See you.	

9 本時の目標

- 相手の目を見て会話する。(思いやり・相手の立場①)
- 自分から進んで話そうとする。(コミュニケーションへの積極性③)

10 準備物

- ネームカード，歌の CD，絵カード，インタビューカード，振り返りカード，リズムボックス，ビデオ

11 本時の展開

ACTIVITIES・支援 (○)・評価 (※)		
Children	HRT	ALT
1 歌 ♪Ha,Ha,This-a-way	・ 児童と一緒に楽しく歌う。	・ 児童と一緒に楽しく歌う。
2 あいさつ ネームカード渡し	・ 一人一人にネームカードを渡しなが ら，あいさつを交わす。 ※目を見てあいさつができている か。	・ 一人ひとりにネームカードを 渡しなが，あいさつを交わ す。 ※目を見てあいさつができている か。
3 主活動 ① 職業当てゲーム	○仕事に関する写真を示す等，ヒン トの出し方を工夫し，本時への意 欲づけを図る。	・職業の英語での言い方を示す。
② チャンツ 1	○児童に適した速さでリズムをと り，無理なく楽しんで繰り返すよ うにする。	○口の形やアクセントが児童に 正しく伝わるように，はっき りと発音する。

チャンツ 2 ③ゲーム ・ジェスチャーゲーム ・カルタゲーム ④インタビュー	○ビデオを見せ, 将来なりたいものを尋ねあうことに関心を持たせる。 ・将来なりたいものの尋ね方と答え方を ALT と共に示す。 ・カルタゲームを担当し, ゲームをリードする。 ○一つ一つ丁寧に発音させ, 正確に聞き取るよう支援する。 ・ALT とインタビューの仕方を演じる。	・将来なりたいものの尋ね方と答え方を HRT と共に示す。 ・ジェスチャーゲームを担当し, ゲームをリードする。 ○児童と共にオーバーなジェスチャーをして, 活動意欲を高める。 ・HRT とインタビューの仕方を演じる。
A : Hi, ____. B : Hi, ____. A : What do you want to be? B : I want to be a ____. A : I see. B : How about you? A : I want to be a ____. B : I see. See you. A : See you.		
⑤ビンゴゲーム 4 振り返り 5 歌 ♪ Good-bye song 6 あいさつ	○言いにくそうにしている児童や消極的な児童のそばに行き, 相手を見つけたり, 一緒にインタビューしたりする。 ※自分からすすんで話そうとしているか。 ※相手の目を見て会話をしているか。 ○聞き取りにくい児童のそばに行き, 発音を繰り返したり, ジェスチャーをしたりしてヒントを出す。 ・できるだけ多くの児童の感想を取り上げ, 児童の良かった点をほめる。 ・児童と一緒に歌う。 ・あいさつをする。	・児童のインタビューに答える。 ※相手の目を見て会話をしているか。 ・児童が職業名を尋ね, それに対して答える。 ・児童の良かった点をほめる。 ・児童と一緒に歌う。 ・あいさつをする。